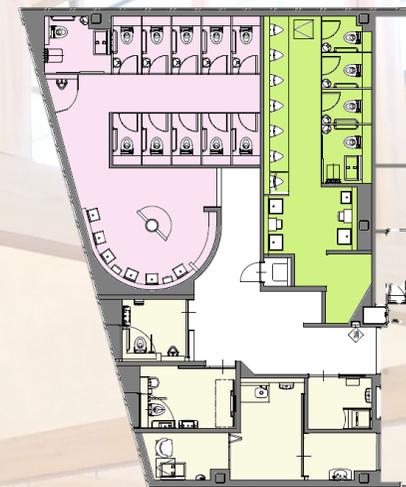
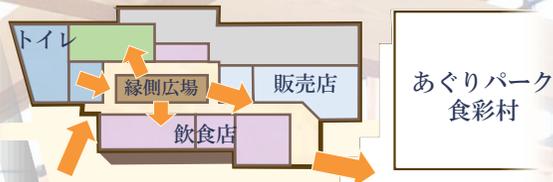


### -人の流れの仕掛け-

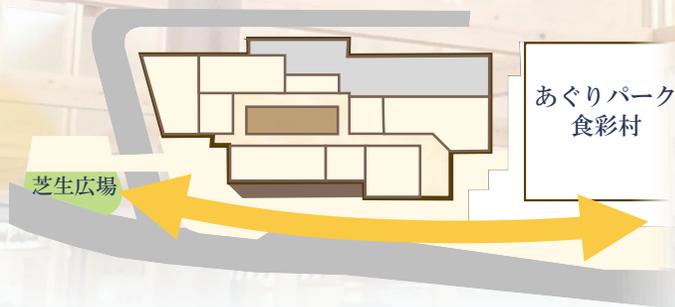
トイレ→縁側広場→飲食店、販売店→食彩村  
という流れをつくる

運転の休憩といった道の駅の利用特性に配慮し、トイレを起点とした人の流れを意識した構成とすることで、各機能にまんべんなく人を動かします。集客力のある食彩村とトイレを対角に位置づけることで、人の流れはより幅広いものになります。



### 東西方向の人の流れとなる軸をつくる

食彩村から芝生広場までをつなぐ東西の動線を設け各施設や広場をつなぐ流れをつくれます。各施設や広場はこの動線に面して設け、来訪者の人の流れをつくれます。

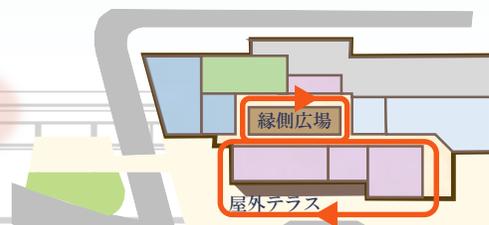


### -誰もが快適に利用できる仕組み-

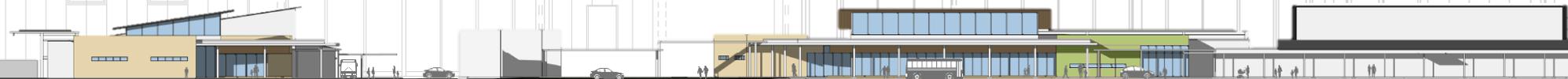
すべての便器を洋式化、高齢者や身体の不自由な方への配慮として大便器、小便器に補助手すりを設置し、子どもでも使いやすいように小便器やベンチを低くするなど全ての人に優しく使いやすい設計をしています。

### 施設全体を楽しんでもらうために

東西に細長い敷地ながら、「縁側広場」を中心とした内部の回遊性と「屋外テラス」を中心とした外部の回遊性を連結させ、来訪者が施設全体を楽しく動き回り、さまざまな施設に触れる機会を創出します。



また、赤と青の男女のイメージにとらわれない黄緑とピンクのタイル壁や、授乳室・おむつ交換コーナーの壁紙を動物柄にするといった子どもの興味を引く工夫が施されています。



国道23号を走る車内にて・・・

「旅行楽しかったね。」

「ええ、でもずいぶん遅くなっちゃったわ。」

「パパ、トイレ・・・」

「休憩がてら、どっか寄るか。カーナビカーナビっと。」

「あ、あれなに？あのあかるいの！」

「あら、道の駅？でもこんなところに建ってたかしら、」

「本当だ。道の駅とよはし、だって。」

・・・せっかくだし、トマッテみよっか。



## 道の駅 夜

施設西側のトイレと情報提供施設は、24時間利用可能となっており、夜は上写真のような、行燈をモチーフにした風情ある外観になります。

日中の顔とは一風変わった道の駅とよはしにも、ぜひ足を運んでみてください。



行燈をモチーフにしてるんだって。  
朝は明るくて気付かなかったなあ。



きれいなトイレ、まだできたばかりみたいね。  
いろんな人が安心して使えそうだわ。



ねえ！あっちにもなにかある！  
こんど、やってるじかんにごようよ！